



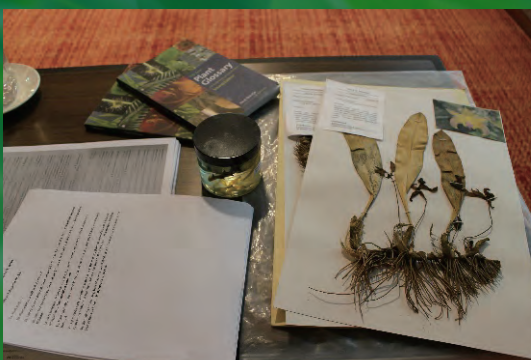
# Need More for CITES?

ESABIIでは、ワシントン条約の政策、管理、施行を担当されている政府関係者に研修受講の機会を提供しています。

- CITESやその附属書掲載種について理解を深める専門的な研修内容
- 専門家による直接指導
- ASEAN10カ国及びモンゴルとの交流



Convention on International Trade in  
Endangered Species of Wild Fauna and Flora





# ワシントン条約 (CITES) と 絶滅のおそれのある種の識別に関する ESABII講師養成研修について

東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ (ESABII; East and Southeast Asia Biodiversity Information Initiative) は、東・東南アジア地域における分類学の能力構築と生物多様性情報の整備を通して、域内の生物多様性保全と持続可能な利用、そして生物多様性に関する科学的基盤の強化と愛知目標の達成に貢献することを目指して発足しました。

ESABIIでは、ASEANとモンゴルの政府関係者を対象とした研修を実施しています。毎年開催されるESABIIの活動の一つとして、私たちは下記に注力しています。

- CITESの規定に基づく野生生物の違法取引と適切な管理の重要性についての認識を高めること。
- 野生生物種の識別のための技術と知識を提供すること。
- 野生生物の取引、ワシントン条約、国内の法律や政策について、それぞれの国の同僚のための講師となる能力を身につけること。
- ASEAN及びモンゴルにおける効果的なネットワークを構築し、生涯の友人を作ること。



## 経費について

以下の必要参加費は環境省が負担しています！

- 宿泊費、交通費などの諸経費
- 参加ガイドブックの送付
- 日当



# 研修プログラム

- **ESABII**研修では、通常、4日間のプログラムを提供しています。
- 開催地はテーマによってASEAN内で決定しています。
- 以下は、代表的な研修プログラムの一例です(2020年フィリピンで開催)。

DAY 1

CITESの一般的な知識に関する講義や、CITESに関する世界の違法取引の現状を紹介し、知識を深めます。



DAY 2

動物園や植物園など、研修テーマに関連する施設で違法取引の取締りや、押収個体の飼育などの現状を視察します。午後には、これまでの研修内容を踏まえたグループディスカッションを行います。



DAY 3

テーマに応じてCITES附属書掲載種の分類学に関する知識を深めます。午後はグループに分かれてディスカッションを行い、自国で研修を開催することをイメージしたプレゼンテーションを用意します。



DAY 4

最終日には、講師のサポートのもと、グループディスカッションの成果発表を行います。また、グループの発表を聞くことで、ASEAN・モンゴルの共通課題や先進事例などを学びます。



## 2020年度講師



**Dr. Rod Hay**  
元ニュージーランド  
CITES管理・科学当局局長



**Dr. Amir Hamidy**  
爬虫類専門家。  
インドネシア科学院所属。



**Dr. Esteven Toledo**  
野生動物の違法取引に従事。  
フィリピン生物多様性管理局所属。



# 近年のESABII研修

## RECENT ESABII TRAININGS

**2020**

日時：2020年2月25日～28日  
開催地：フィリピン・マニラ  
研修テーマ：爬虫類



**2019**

日時：2019年2月24日～27日  
開催地：マレーシア・クアラルンプール  
研修テーマ：ラン科植物



**2018**

日時：2018年2月6日～8日  
開催地：マレーシア・クアラルンプール  
研修テーマ：ラン科植物



**2017**

日時：2017年1月31日～2月3日  
開催地：マレーシア・クアラルンプール  
研修テーマ：CITESにおける管理



## 参加者からの声

### Voices from the past Participants

- とても有意義な研修だった。ワシントン条約実践のための能力向上の機会を引き続き提供してほしい。
- 研修を受けたことで、**当国の税関職員は、日常業務の中でCITES種の検査や証明書の検証をより積極的に行うようになった。**また、本研修のおかげで、税関職員は日常業務の中で、ワシントン条約対象種の検査や証明書の検証に積極的に取り組むようになり、それらの手続きに疑問を持つことが少なくなった。
- ワシントン条約に関する**基本的なスキルを身につけることができ、**所属機関と他の機関との間で、違法な野生生物の取引に関連する情報交換ができるようになった。

詳細については、下記のリンク先をご覧ください。

**ESABII** 

<http://www.esabii.biodic.go.jp/index.html>